

平成 25 年 7 月 18 日

博士課程教育リーディングプログラム(オールラウンド型)  
「PhD プロフェッショナル登龍門」研究アシスタント募集要項

下記により「PhD プロフェッショナル登龍門」研究アシスタントを追加募集します。

記

1. 趣旨

平成 25 年度が第 1 期生受け入れとなる博士課程教育リーディングプログラム（オールラウンド型）「PhD プロフェッショナル登龍門」の実施にあたり、2 年次以降に受けさせる予定の講義等のプログラムの更なる改善に向けた業務に従事するアシスタントを募集する。

2. 対象

名古屋大学大学院の各研究科に在籍している博士後期課程の学生。

3. 採用予定人数

10 名程度

4. 雇用期間

平成 25 年 10 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

5. 職名

研究アシスタント

6. 職務

1) 講義・演習等に受講生として参加し、モニター報告書を提出する。

2) プログラム全体について検討を行い、実施に向けた改善策を提出する。

※プログラムの内容については、下記リストを参照。なお、すべてのプログラムに参加する必要はない。個々のスケジュールに応じて、参加するプログラムを選ぶことができるが、少なくともいずれか一つのプログラムを受講することとする。

7. 給与

時間給 1,364 円（2 級 1 号給相当）

※ 名古屋大学に勤務する教育職本給表に相当する契約職員等の給与に関する取扱要項による

8. 勤務時間

原則週 3 日、1 日 4 時間勤務とする。

講義・演習等に参加する場合は、受講およびモニター報告書の作成に要するとみなされる時間を、超過勤務として勤務時間に計上することができる。

本学における RA や TA、留学生チューター等と PhD プロフェッショナル登龍門研究アシスタントの兼務は認められないので、留意すること。

## 9. 申請手続

平成 25 年 7 月 18 日～8 月 2 日の間に、所属する研究科事務を通じて、次の三点を PhD 登龍門推進室に提出すること。

- 1) 申請書（所定書式）
- 2) 指導教員の推薦書（A4，書式自由）、封筒に封入すること。
- 3) 勤務時間管理表（所定様式）

## 10. 選考基準

モニター志望理由（申請書の所定個所に記述）の内容と指導教員の推薦書による。

### 11. 備考

モニターとして有益なレポートを提出した者は、平成 26 年度「PhD プロフェッショナル登龍門」研究アシスタントの選考において、優先的に採用することとする。

### 12. プログラムについて

プログラムには講義・演習（1 回または複数回の授業・イベントで構成）と海外研修等がある。モニターはプログラムの中から希望するものを選んで参加し、レポートを提出する。実施するプログラムの詳細は決まり次第通知する。現在のところ、以下のプログラムを実施の予定である。今後、プログラムは追加される予定。

- 1) 英語研修
- 2) 日本文化セミナー（講義、体験等）
- 3) 社会人メンターセミナー
- 4) 海外研修 期間は 1～2 週間程度
- 5) 随時行われる講演会等

本件に関する問い合わせ先

名古屋大学 PhD 登龍門推進室

東山キャンパス 理学部 C 館 3 階 319 号室

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

e-mail : 10ryumon01@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

PhD プロフェッショナル登龍門ホームページ

<http://www.phdpro.provost.nagoya-u.ac.jp/>